

平成 24 年 5 月 16 日

会員企業各位

一般社団法人 大田工業連合会  
会 長 舟久保 利明

## 電力値上げ問題に関する行政への支援要望 署名活動へのご協力をお願い

日頃より、当会の活動に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。  
さて、既に一部の企業では電力料金の値上げが始まっていることと思います。  
特に電力使用量の大きい鋳物、熱処理、鍍金などの企業では、年間 1 千万円を超えるコスト増となる企業があるとも聞いております。

これらは純粋な“コスト”でしかなく、何らかの価値を生み出す為に行う、設備投資のような支出ではありません。  
また、部材の仕入れ値や、外注費などにも影響が及ぶ為、単なる電力料金の増のみで留まる問題でもありません。

地域の製造業にとって死活問題となる大きな問題である一方、3月27日の東京電力㈱（以下、東電と記載）からの一斉値上げの見送りの発表により、値上げ反対の声は弱まり、結果として、じわじわと、そして確実に、その影響が各社の経営に及びつつあります。

過去にリーマンショック、東日本大震災、円高、電力不足、空洞化問題などを乗り越えてきた我々に、更なる負担を背負う余裕は無いに等しく、自助努力にも限界が来ていると考えざるを得ません。

また、円高、デフレ、国際競争に苦しむ大手企業にも、部材のコスト増を受け入れて貰う余裕は乏しいと感じざるを得ません。

また、今回の値上げは東電管内に留まる見込みの為、東電管内とそれ以外の地域でのコスト差の発生により、大田区の工業はより厳しい競争環境に置かれることとなります。

日本が誇るものづくりの集積地、大田区の中小企業の衰退は、工業立国たる日本の工業の存続をも危うくし、これらの存続が難しくなる事態に陥れば、日本経済全体の将来をさらに不透明なものとする大きな問題になると危惧するところです。

当署名により、具体的には、東京都および大田区に補助金、減税などの支援の検討を訴えたいと思います。※詳細は「電力値上げ問題に対する大田区工業の要望」をご確認下さい。

署名を行うのは、当会の正会員団体、会員企業様を想定しています。  
多くの皆様のご賛同をいただきますよう、お願い申し上げます。

## 電力値上げ問題に対する大田区工業の要望

東京都知事 石原 慎太郎 殿

一般社団法人 大田工業連合会  
会 長 舟久保 利明

日頃より、大田区の工業企業の活動に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、大田区内の工業は、昨今の厳しい経済情勢に立ち向かい、これを乗り越えるべく、日々、精一杯の経営努力を続けております。

斯様な状況下、東京電力株式会社（以下「東電」と記載）による自由化部門の電気料金の値上げは、私たちのこれまでの経営努力を踏みにじり、経営を圧迫し、企業の存続を脅かす大きな問題となっております。

言うまでもなく、日本は優れた技術を誇る工業国ですが、その競争力は大手企業の力のみで構築されているものではありません。我々の様な中小零細事業者の技術力も結集されることにより、保持されているものと考えております。

電力料金の値上げは中小零細事業者の存続を難しくする大問題であり、中小零細事業者の倒産、廃業が進めば、大手企業も競争力を失い、日本の工業は存亡の危機を迎えるに至ると考えざるを得ません。

円高、デフレ、国際競争に苦しむ大手企業にも、我々が製造する部品等のコスト増を受け入れる余裕は乏しいと感じざるを得ません。また、今回の値上げは東電管内に留まる見込みの為、東電管内とそれ以外の地域でのコスト差の発生により、大田区の工業はより厳しい競争環境に置かれることとなります。

中小零細事業者の対策は、社内コストを切り詰めることとなり、地域の雇用にも影響が出る可能性があります。

私たちは、今後も都内および東電管内エリアのものづくりの歴史を守り、日本経済の発展に貢献する工業であり続ける決意を固めています。

但し、その為には各種統計データ、情報が示す通り、このたびの電力値上げ問題は我々のみの努力で乗り越えられる限界を超えており、中小零細事業者に対するご支援を強くお願いする次第です。

この問題は、決して我々だけの問題ではなく、工業立国日本の存続にかかる問題であると捉えております。

■ 要望事項

中小零細製造業事業者に対する以下の支援

- (1) 電力コストの増分に対する補助金の設定、または減税などの実施
- (2) 東京電力株式会社に、自由化部門の電力料金値上げに対する時限性の設定を要請
- (3) デマンド監視装置の各社への無償配布、設置

地域経済の継続と発展の為、日本の工業および日本社会の未来の為、工業基盤の存続の為のご支援を頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上

## 電力値上げ問題に対する大田区工業の要望

東京都知事 石原 慎太郎 殿

下記署名者一同、地域の工業の継続と発展の為、また、日本の工業および日本社会の未来の為、以下のご支援を頂きますよう、要望します。

- (1) 電力コストの増分に対する補助金の設定、または減税などの実施
- (2) 東京電力株式会社に、自由化部門の電力料金値上げに対する時限性の設定を要請
- (3) デマンド監視装置の各社への無償配布、設置

会社・団体名	代表者名	住所
	印	
	印	
	印	
	印	
	印	
	印	
	印	
	印	

### 【ご署名くださる方へ】

添付要望書の趣旨にご賛同頂ける企業様は署名をお願いします。要望書と共にこの署名簿を東京都知事に提出します。

※署名簿の欄がすべて埋まらない場合でも、大田工業連合会事務局、または所属の各団体事務局までお送り下さい。

重複署名は無効になりますのでご注意ください。

追加の署名用紙は当会のホームページ (<http://www.ootakoren.com/>) からダウンロードできます。

この署名簿は他の目的には使用しません。

**集約先・問い合わせ先**：一般社団法人 大田工業連合会（または所属の各団体事務局）

〒144-0035 東京都大田区南蒲田 1-20-20 大田区産業プラザ 5F

TEL：03-3737-0797 FAX：03-3737-0799（6月1日必着）

※ 署名簿の提出は持参、郵送、FAXにて受け付けております。